

雇用機会を創出し、多様な人材が安心して働ける職場づくり

大和ハウスブルーム株式会社（三木市）



ココランハウス三木



お花を運ぶ様子

経緯

- ・ 2019年1月、大和ハウス工業株式会社は、1970年代に開発した住宅団地の一角に、ミニ胡蝶蘭の栽培施設「ココランハウス三木」を建設。
- ・ 2019年6月、近隣の特別支援学校の生徒に対して就労実習を開始。
- ・ 2021年4月、大和ハウス工業の特例子会社として大和ハウスブルーム株式会社を設立。
- ・ 2021年5月、特別支援学校3校の生徒5名に対しての新卒採用を目的としたインターンシップを開始。翌年4月に実習生全員が大和ハウスブルームの正社員として入社。
- ・ 2022年4月、大和ハウスブルームが「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社の認可を取得。

取組内容

- ・ 現在6名いる障害者社員は、ハウス4棟（約200㎡×4）において、週3日のワークシェアリング形式で働いている16名の地域の高齢者とともに、「低温室」、「栽培室」、「高温室」、「順化・仕立て室」の4つに区切られた胡蝶蘭の栽培ステージごとの手入れやお花の移動などの肥培管理に従事。
- ・ 胡蝶蘭の栽培は、光や水の管理などに相当な習熟が必要と言われているが、LED光源や一斉冠水等による栽培システム（大和ハウス工業特許）により、農業の未経験者であっても安定した品質の栽培が可能。
- ・ 胡蝶蘭の出荷先は、大和ハウスグループ内での利用、オンライン販売、毎月第3土曜日に敷地内で開催しているマルシェなどでの直接販売。

今後の展望等

- ・ 胡蝶蘭の出荷鉢数は、2021年は7,255鉢、2022年は15,807鉢であった。2023年の目標は44,600鉢としているところであり、これからも出荷数を増やしていきたい。
- ・ 胡蝶蘭の需要はシーズンにより波があるので、繁忙期と閑散期に分かれる。このため1年を通じて均一に仕事ができるよう、紙すきや草木染のほか、しおりなどに2次加工するなど工夫しながら商品を開発し、アイテム数を増やしていきたい。